

平成三十年度 江戸川看護専門学校 推薦入学試験

国語

注意

1. 指示があるまで開かないこと。
2. 試験時間は五十分とする。
3. 受験番号、氏名を解答用紙に正確に記入すること。
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. その他の注意事項は、試験監督の指示に従うこと。

一

次の①～⑩の各文中の傍線部のカタカナを漢字にせよ。

- ① 台風による被害はジンダイだ。
- ② 国家の機構も整わず、カンリヨウも組織されていなかった。
- ③ 清廉ケツパクだ。
- ④ 「着こなし」のシナン役として重宝される。
- ⑤ あの人のセンパクさには呆れかえる。
- ⑥ 前言をテツカイする。
- ⑦ 外見のビシユウにとられない。
- ⑧ 市内をジュンカンするバス。
- ⑨ 名作をモホウする。
- ⑩ 第三幕をカツアイして上演する。

二

次の漢字の読みを平仮名で答えよ。

- ① 欺く
- ② 携える
- ③ 唆す
- ④ 施す
- ⑤ 諭す
- ⑥ 久遠
- ⑦ 解熱
- ⑧ 出納
- ⑨ 忖度
- ⑩ 斟酌

三

次の①～⑤の言葉の意味を選択肢から選び、記号で答えよ。

- ① アフォリズム
- ② オートドックス
- ③ コンセプト
- ④ アイロニー
- ⑤ カオス

- ア 考え方
- イ 過程
- ウ 格言
- エ 皮肉
- オ 混沌
- カ 正統的なさま

四

次の傍線部のうち文法的な性質が他と異なるものを一つ選び、記号で答えよ。

- ①
ア 暗闇の中をおそろるおそろる進んだ。
イ 彼女は不機嫌そうにすたすたと歩いて行ってしまった。
ウ 赤ちゃんがベッドですやすや寝ている。
エ 長年愛用している辞書はぼろぼろになってしまった。
オ 雪がしんしんと降り積もる。

- ②
ア 生きてさえいればまた会うこともあるだろう。
イ 彼の表情には余裕さえ感じられた。
ウ この坂さえのぼってしまえば後は下り坂だ。
エ この問題さえ解決すればすべてがうまくいく。
オ そのことに気がついてさえいれば心配はない。

- ③
ア 真実をきかないままではいられない。
イ 辛い目にあっても悲しみはおぼえない。
ウ 水がなければどんな命も育てられない。
エ 足下がおぼつかない。
オ 明日も暑さは和らがないそうだ。

- ④
ア うまく話せるようになった。
イ 一緒に旅行に行けるのは楽しみだ。
ウ うわさが知れるのはあつという間だ。
エ 納得のいく作品が描けるまで頑張った。
オ こんなに早く着けるとは思わなかった。

五

次の各文の敬語の使い方として適切でないものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えよ。

- ①
ア 昨日はいつもと違う服をお召しになっていました。
イ 宴会でおかけになる席を特別に用意いたします。
ウ 新しい年をお越しになってからお元氣そうです。
エ 今日お見えになるとは知らずに失礼いたしました。
オ おいでのなるのはいつも月曜日です。

- ②
ア 父が先生にご説明すると申し上げています。
イ どうぞお召し上がりになってください。
ウ 明日、お宅に伺ってもよろしいですか。
エ 先生が私にご遠慮なさることはございません。
オ 先生方に来ていただけると助かります。

- ③
ア コーヒーと紅茶、どちらをいただかれますか。
イ 番号順にお呼びいたしますのでお待ちください。
ウ この電車にはご乗車になれません。
エ 先生にはご健勝のことと存じます。
オ どうぞお元氣でお過ごしください。

- ④
ア ご質問はございませんか。
イ 先生から先方に手紙をお書きになってください。
ウ ご注文は何になさいますか。
エ ご紹介させていただきます。
オ どうかいたしましたか。

六 次の文学史について各設問に答えよ。

① 「言文一致運動」と関わりの深い作家と作品の組合せとして最も適切なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 芥川龍之介 『鼻』
イ 森鷗外 『舞姫』
ウ 二葉亭四迷 『浮雲』
エ 太宰治 『人間失格』
オ 坂口安吾 『墮落論』

② 作者と作品の組合せで誤っているものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 川端康成 『伊豆の踊り子』
イ 中島敦 『山月記』
ウ 堀辰雄 『風立ちぬ』
エ 田山花袋 『田舎教師』
オ 樋口一葉 『一房の葡萄』

③ 夏目漱石の作品を次からすべて選び、記号で答えよ。

- ア 金閣寺
イ 破壊
ウ 坊っちゃん
エ こころ
オ たけくらべ
カ 檸檬
キ 細雪
ク 夢十夜
ケ 天平の甍
コ 小僧の神様

④ 森鷗外の作品を次からすべて選び、記号で答えよ。

- ア 阿部一族
イ 桜の森の満開の下
ウ 日本文化私観
エ 高瀬舟
オ 山椒大夫
カ 痴人の愛
キ 破戒
ク にごりえ
ケ 斜陽
コ 地獄変

七

次の文章を読んで後の設問に答えよ。

句読点も一字として数えるものとする。

人間の死の医療にまつわる一つの大きな問題は、^①延命治療である。医療の手を加えなければすでに死んでいる人に、濃厚な医療手段を使っているのを長らえさせる。それが患者の苦しみを長引かせ、経済的な負担を増加させることがあっても、少しでも長く心臓を動かしておくということに全力が注がれる。

これは医学が病気を治し、いのちを救うための学問であると同時に、医師も死を敗北ととらえて、それをできるだけ避けようとする個人的な感情をもっていることに起因する問題であろう。

医師の目指すものと患者の希望がかみ合わないのである。これはどちらがよいとか悪いとかいう問題ではなく、医師と患者がよく話し合い、お互いの考えを示し合って二人にとって適切なセツチュウ点を探りださなければならないということではないだろうか。**A**、そこには家族の意向も反映させなければならない。

医療者側にとつては、患者の意思を尊重するという態度が要求されるし、患者側には自分の意思をきちんと伝えるという責任が要求される。このような医師と患者間の話し合いが日常におこなわれるようになれば、^②ほんとうの意味でのインフォームド・コンセントが確立するであろう。

国民の生活水準が上がり、健康管理がきちんと行われ、医学知識がいさわたったことよって、私たちの平均寿命が著しく延びた。人々が長

寿になること自体は喜ばしいことであるが、老年期は青年期や壮年期に比べると、いろいろと苦しみの多い時期でもある。

B、老化により、からだにいろいろな故障がでたり、若いころほど元気には過ごせなくなる。自分の伴侶をはじめとして、近い人の死に次々と出会うことも多い。

C、自分の身の回りのことをするにも、他の人の手を煩わせなければならぬこともしだいに多くなる。遠慮してガマンしなければならぬことも増えてくる。物忘れをはじめとした精神的オトロえを感じる人も多いであろう。

このような老いの寂しさをよくわきまえて、若いうちから心の準備しておく必要があるのではなからうか。そのためには、若いうちに老いとは何かということを知らなければならない。その最善の方法は、若い人々が高齢者と接する機会を増やすことである。

現在、高齢者の介護の人手不足が社会問題として浮かびあがっているが、それはすべてお金で解決しようとしているためであるように思われる。生涯性という視点から目をそらせて、精神的なものに目を向けると、^③これほど豊かな資源はないということに気づくであろう。

どんな小さな子供でも、高齢者を喜ばせることができるし、自らを高齢者と思っている人も、老人だからとわず、障害者や高齢者の介護にかかわり、そこから得られる精神的な喜びを一般の人々が知るとき、はじめて高齢化社会の問題は解決すると私は考えている。介護は汚い仕事でもつらい仕事でもない。それを超える大きな感動のある仕事になり得るものである。そのことに人々が気づかず、汚い仕事として厭いつづけるかぎり、介護は汚い仕事でありつづけるであろう。

介護を汚い重労働にしているのは人々の意識そのものであるということに気づいていただきたいと願ってやまない。

さらに、これからの時代を生きる人は、子供のときからしっかりした死生観を育む必要がある。少量の血液を採るだけで、いくつかの遺伝病を診断できるようになり、出生前、あるいは出生と同時に、その人が将来重大な病気になるかどうかということを知ることができる時代がきた。

D、あなたが、三十歳くらいで癌になって死亡する確率が八五パーセントと診断されたらどうであろうか。あるいは、*ハンチントン病のような神経系を冒される病気になるといわれたらどうであろうか。

このような検査は受けないというのも一つの考え方であろう。

E、検査とは関係なく、病気と死は生きているものにはいつもつきまとうものである。

また、障害者や高齢者の介護に、老若男女を問わずかわることで、すべての人々は老いや病気について実地に学ぶことができる。

このような経験は、その人の深い死生観の確立に重要な役割を担^{iv}うであろう。障害をもって生きるとはどういうことか、老いとは何かということを知り、病気や死について、すべての人が真剣に考えなければならぬ。

医療の進歩に翻弄されてしまわないように、私たちがしなければならぬことは、いのちについての教育と思索であり、^④介護の社会化であると私は考えている。

検査、診断技術の発達は、私たちがしっかりした死生観を若いうちからもっていることを要求する。人間は死ぬものであるということ各人

が考えて、毎日を充実させて生きることを求めるのである。あまり平和すぎると、私たちは自分たちが死ぬ運命を背負っているということを忘れてがちであるが、「死ぬもの」というのが私たちのほんとうの姿である。

(柳澤桂子「医学の進歩と生命」による)

*ハンチントン病Ⅱ脳細胞が徐々に失われていく病気

問一 波線部 i、iv のカタカナを漢字にし、漢字は読みを平仮名で答えよ。

問二 空欄 **A**、**E** に入れるのに最も適切な語をあとの選択肢から選び、記号で答えよ。

ア もちろん イ また ウ ところで
エ けれども オ まず カ もし

問三 傍線部①「延命治療」とあるが、筆者は「延命治療」のどのような点が問題となっているのか。解答欄の「こと」に続くかたちで、本文中から二十五字以内で抜き出して答えよ。

問四 傍線部②「ほんとうの意味でのインフォームド・コンセント」と

あるが、筆者が考える「ほんとうの意味でのインフォームド・コンセント」とはどのようなことか。「理解」「納得」という語を必ず用いて、三十五字程度で説明せよ。

問五 傍線部③「豊かな資源」について。

(1) ということが「豊かな資源」になるというのか。文中から二十字で抜き出して答えよ。

(2) (1) によって得られる「豊かな資源」とはどのようなことか。文中から二つ探し、六字と八字で抜き出して答えよ。

問六 傍線部④「介護の社会化」とはどのようなことか。その内容を具体的に述べている部分を本文中から三十字以内で探し、始めと終わりの四字を答えよ。(句読点も含む。)

| 七 | | | | | | 五 | 三 | 二 | | | 一 | | | | |
|-----|----|---|----|---|----|----|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 問六 | 問五 | | 問四 | | 問三 | 問二 | 問一 | ① | ① | ⑨ | ⑤ | ① | ⑨ | ⑤ | ① |
| 始め | 2 | 1 | | | | A | i | | | | | | | | |
| | | | | | | | | ② | ② | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | す | く | | | |
| | | | | | | B | ii | ③ | ③ | ⑩ | ⑥ | ② | ⑩ | ⑥ | ② |
| 終わり | | | | | | | | ④ | ④ | | | | | | |
| | | | | い | | | | | | | | | | | |
| | と | | | | | C | iii | 六 | ⑤ | | ⑦ | ③ | | ⑦ | ③ |
| | | | | | | | | ① | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 四 | | | | | | |
| | | | | | | | | ② | ① | | | | | | |
| | | | | | | D | え iv | | | | す | | | | |
| | | | | | | | | ③ | ② | | ⑧ | ④ | | ⑧ | ④ |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | E | う | | ③ | | | | | | |
| | | | | | | | | ④ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | ④ | | | | | | |

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

国語

| |
|----|
| 氏名 |
| |

| |
|----|
| 得点 |
| |

平成三十年度江戸川看護専門学校 推薦入学試験 解答用紙